

平成24年度 県立牛久栄進高等学校自己評価表

目指す学校像	情報化・国際化・高齢化等激しく変化する社会にあつて、それらに柔軟に対応できる力を育むと同時に、豊かな人間的資質を培い、自主自律の態度を養い、進取の気概あふれる創造性豊かな青年を育成する。				
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況		
<p>平成10年、県内初の単位制高校として改編後、「活力ある進学校」を目指し、「自主独立の人づくり」「個に応じた学習指導」「特別活動の充実」を指導目標として、教職員と生徒との信頼関係をベースに学校全体が一つになって取り組んできた。その結果、国公立大学に毎年100名前後の現役合格者を輩出するようになり、昨年度は現役合格者91名、私立大現役合格者は632名に達する成果を上げることができた。</p> <p>これは、生徒一人ひとりの進学希望実現に向け、単位制の特長を生かして、きめ細かな教科指導・進学指導に取り組んできた結果と考えられる。改編後の飛躍的な進学実績の躍進を評価すると共に、今後も単位制の特性を生かした様々な取組みを積極的に推し進め、生徒一人ひとりの進学希望を実現していきたい。生徒の自立に向けて、規範意識を高める教育や豊かな心を育てる教育、安全教育にも引き続き取り組んでいかねばならない。</p> <p>また、昨年からはじめたB4委員を継続し、本校がさらなる飛躍をしていくための重要課題を検討し、新たなステージに向けての具体的な提言をまとめていきたい。</p>	教科指導 －授業は真剣勝負－	① 単位制の特長を生かし、多様な選択科目を設定し、少人数講座・習熟度別学習・チームティーチングなどに積極的に取り組む。 ② 基礎・基本を重視し、さらに多様な大学入試に対応できる力が身に付く授業を実践する。 ③ 教員一人一人の授業のレベルアップを図るために、公開授業・研究授業や研究協議を実施し、授業に関する研修を充実させる。	3		
	特別活動 －部活動や生徒会活動の意義－	④ 部活動を通して、感性を高め、心身を鍛錬するとともに、友人との人間関係を構築させる。 ⑤ 学校行事を通して、達成感・成就感を体得させるとともに、HRや学校全体の連帯感を養う。 ⑥ 生徒会活動・委員会活動・HR活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 ⑦ 国際交流事業を通じて、生徒の視野の拡大、国際理解教育の推進に努める。	3		
	生徒指導 －生徒の規範意識の高揚と安全教育の徹底－	⑧ 全職員の共通理解のもとに、あらゆる機会を通じて規範意識の向上を促す。 ⑨ 個別相談・教育相談を充実させ、生徒の悩みや課題の解決に向け支援する体制を整えるとともに、関係機関との連携強化を図る。 ⑩ 登下校指導や危険箇所の情報提供を確実に実施するとともに、不振者、ネット犯罪等を対象とする安全教育を推進し、生徒の危機察知能力及び危機回避能力を育成し、事故の未然防止に努める。 ⑪ ホームルーム活動や学校行事を通して、自他の生命を尊重する精神を養う。	3		
	進路指導 －個に応じた的確な進路指導の推進－	⑫ 生徒が進学を希望する国公立大学・私立大学の説明会等を通して、生徒にとって有益な情報を積極的に収集し、生徒に提供する。 ⑬ 「特色ある学校づくり支援事業」の一環として、さまざまな機関との連携を図りつつキャリア教育を充実させ、多面的な大学入試への対応を促進する。 ⑭ 生徒が必要とする参考図書等を精選して購入し、生徒による図書の活用を促進する。	3		
	保護者及び地域社会との連携 －積極的な情報発信－	⑮ 教育活動や学校行事等について細かく保護者に伝達し、常に保護者と教職員が手を携えて生徒の教育にあたる体制を継続していく。 ⑯ HPや各種印刷物等を通じて、保護者・地域社会に対し、教育目標・教育活動等の情報をさらに積極的に発信していく。	3		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価	次年度(学期)への主な課題	
教科指導	学力の増進と生徒の家庭学習の充実を図る。	生徒が目的意識を持って自主的、意欲的、継続的に学習する態度を育成する指導の工夫改善を図る。①	3	3	週末課題や「栄光への歩み」のより効果的な活用方法について、検討していく。また、教科の特性を生かした授業形態について工夫・研究していく。
	学習指導法の改善に努める。	各教科、各年次における週末課題や、生活・学習の記録「栄光への歩み」等の活用について連携し、家庭教育の充実を図る。①	3		
		生徒一人一人の能力・進路に応じて、少人数授業・TT授業・小テスト・学力向上ゼミ等を実施する。①②③	3		
国語	基礎学力の充実を図るとともに発展的学習の向上を図る。	科目担当者の連携を密にし、授業の工夫と改善を図る。③	3	3	授業見学の機会を増やす。上位者と下位者、それぞれに応じた指導法を工夫し、全体的な向上を目指す。
		生徒に適した教科書教材を精選する。また、次年度や受験を視野に新しい教材を検討する。②	3		
	自ら学ぶ力の強化を図る。	家庭学習を習慣化するための課題や小テストを工夫する。②	3		
		自ら学ぶ力を強化するための指導を工夫するとともに問題集や参考書を精選する。①②③	3		

教	地歴・公民	生徒の基礎学力向上を目指した授業の工夫を行う。	視聴覚教材の開発やIT機器の利用などを通じて、授業内容の充実を図る。また、小テストなどを適宜実施して、基礎的・基本的事項の定着を図る。	②	3	3	成績上位者を伸ばす方法、成績下位者を引き上げる方法を教科全体で検討・実施していく。
		多面的なものの方見方と思考力の育成を図る。	科目担当者間の連携を密にして活発な情報交換を行うとともに、史料や各種統計資料の積極的活用、テーマ学習への取組などを通し、社会的・歴史的事象に対する主体的分析力・考察力を涵養する。	①②③	3		
	数学	学力の向上を目指した指導を充実する。	課題提出や小テストを定期的に行い、学習習慣の確立を図る。	②	3	4	中位層の引き上げ方法を検討していく。科全体として指導方法の共有をはかる。
			科目担当者間の連携を密にし、授業の進め方や学力の定着度合の分析を行い、課題を明確にし指導に生かす。	③	3		
		個に応じた授業の充実を図る。	TTをはじめ、問題演習時間を増やして主体的に取り組むことのできる授業を実践する。	①	3		
	理科	日常の授業を通じて科学的な観察力・思考力を育成する。	実験や実習を効果的に取り入れ、生徒の興味・関心を高めると共に科学的な思考力の育成を図る。	①②	3	3	実験・実習の時間の確保、各科目間での情報交換を密にして、効果的な授業の進め方を共有する。
		基礎学力の充実を図り、センター試験において平均点以上の得点を目指して指導する。	教科書を中心に基礎学力の徹底的な育成を目指して問題演習・課題学習を行う。	①②	3		
	保健・体育	授業内容の充実を図る。(体育)	生徒の体力向上及び個人技術の段階的な向上を図り、ゲームを工夫する。	①	3	3	生涯を通じて継続的に運動のできる能力と態度を育てる。
		体育授業における事故防止に努める。(体育)	準備運動の徹底を図り、安全・健康に留意して行動する態度を育てる。	①	3		
		授業内容の充実を図る。(保健)	視聴覚教材を積極的に活用し、実践的な能力を育てる。	①	3		
芸術	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることにより、創造的な能力を育てる。	可能な限り個々に応じた丁寧な指導を目指す。	①②⑤	3	3	芸術の表現活動において、自ら創意工夫し学習する態度を育成したい。	
		各種コンクールへの出場・出展を促すとともに、入賞できるような効果的指導を目指す。	①⑤	3			
	生徒一人一人が、実践的・体験的な諸活動に主体的に取り組むことにより、芸術を愛好する心情を養う。	さまざまなジャンルの音楽会・展覧会等を紹介する。	①②⑤	3			
		新聞記事等から豊富な話題を提供する。	①	3			
家庭	授業内容の充実を図る。	教科書の内容を精選し、最新の情報を取り入れながら教材や指導方法の工夫を図る。	②	3	4	実験実習の時期を検討する。	
	自立に必要な生活技術の向上を図る。	実験実習の回数をできるだけ多くし、生徒の実態や能力にあった内容を検討する。	①	4			
英語	英語の学力を向上させる。	教科書の予習復習を中心とした学習法を確立させる。	②	4	3	年次間の情報交換を密に行い、発展的指導体制を強化する。新学習指導要領に向けた検討を行う。	
		サイドリーダー、週末課題、長文問題集、文法問題集、単語集等、副教材を吟味し質的量的充実を図る。	②	4			
	授業研究の徹底を図る。	定期調査結果、模試結果をその都度分析する。	②	3			
		定期的授業研究を実施することによって、指導技術研鑽を図る。	③	3			
情報	生徒の情報活用能力の育成を図る。	学校行事やCES（総合的な学習の時間）と連携した学習課題を題材とし、情報の収集・処理・発信などの実習を行う。	①③	4	4	CESとの連携では生徒に進路意識を高めさせるとともに、準備からまとめまでを年次と連携し指導することができた。次年度へは、数学Iとの連携を模索しながら、授業の改善を図りたい。	
		情報モラルや著作権など、情報機器を活用していく上で配慮すべきことを考えさせる。	①⑩	4			
	教員の授業実践力の向上を図る。	授業見学や研究授業を行う。	③	3			
		校内外の研修をとおして、優れた実践事例等に学ぶことに努める。	③	3			

教 務	授業時間の確保に努め、授業技術のレベルアップを図る。	授業交換や填補を確実にを行うとともに、行事の精選・日程の工夫等により、授業時間の確保に努める。①	3	3	特に授業・指導法に関する研究協議等に努め、新学習指導要領に向け単位制を生かしたより効果的な編成を進めていく必要がある。
		授業・指導法に関する研究協議、公開授業等を実施し、優れた技術の共有化を図り、授業内容の改善に努める。③	3		
	単位制の特長を生かした教育課程編成の工夫を行う。	生徒の進路実現のための効果的な教育課程編成や履修パターン等の内容を検討し、改善を図る。①②	3		
	地域社会に対して本校教育活動等の情報発信等に努める。	ホームページやインフォメーション（学校案内）等の内容を充実させ、また中学生対象のEishinオープンハイスクール、学校公開等を通して、積極的に本校の情報提供やPRを行う。⑩	4		
特別活動	HR・生徒会活動のさらなる活発化を図る。	栄進祭・栄進カップ等の学校行事において、生徒が主体的に活動できるよう助言指導をする。⑥⑦	3	3	学校行事等において、生徒が主体的に活動できた。課題は、女子の部活動への参加率を上げること。
	部活動への積極的参加を図る。	部活動への参加率を上げ、生徒の自主的な活動を促進するため、顧問が適切に助言指導する。④⑤⑥	3		
生徒指導	生徒の規範意識を高めるとともに、基本的な生活習慣の育成に努める。	全職員の共通認識のもと、頭髪・服装指導を年間をとおして継続的に実施する。⑧	3	3	交通安全対策及び不審者対策を課題としてとらえ指導の充実を図る。
		登校指導やマナーアップキャンペーンにおいて、生徒が主体的に参加・活動できるようにする。また、登校指導への保護者の参加・協力を促進する。⑧⑨	3		
	自他の生命を尊重する精神を養うとともに、豊かな心を育成する。	通学路において、定期的に登下校指導を実施するとともに、危険箇所の把握、情報提供を通じて事故を未然に防ぐ。⑩	3		
		HRや「道徳」、交通安全講話・いじめ防止教室・薬物乱用防止教室等の学校行事をとおして、自他の人権、生命の尊重及び危機管理意識を養う。⑩⑪	3		
進路指導	生徒一人一人の希望進路実現を学校全体で支援する。	「栄光への歩み」「進路の足跡」「進路便り」などの発行、及び受験関係図書の有効な活用を図るとともに、面接週間を充実させる。⑫⑭	3	3	教員対象の入試制度研究や入試問題研究の機会を増やし、生徒の進路実現に活かせるようにする。
	国公立、及び難関私立大への進学率の向上を図る。	進路講演会やFine-system、Kei-naviなどによる成績分析、進路検討会、進路講演会などを実施する。⑫⑬	3		
保健厚生	生徒自らによる心身の健康管理能力を養う。	疾病予防や早期発見のために健康診断と事後指導を確実にを行う。⑨	3	3	身体計測や各検診等スムーズに実施するように努める。また、環境整備部との統合で支障をきたさないようにする。
	生徒の学校生活での福利厚生を図る。	心身の健康状態の把握に努め、健康相談、助言・指導を行う。⑨	3		
		日本スポーツセンターおよび奨学生の事務取扱を円滑に行う。⑩	3		
		パン・牛乳販売の連絡を円滑に行う。⑨	3		
環境整備	校舎内外の環境美化を計画的に推進する。	学習環境を整えるために校内の安全点検や清掃の徹底を図るとともに、花壇の手入れや校外の環境美化運動を通して生徒の美化意識を高揚させる。⑩	3	3	地震に対する心構えの徹底を図る。
	防災について啓発し、非常時に適切な行動をとれるようにする。	緊急避難体制を確立させ、地震や火災を想定した避難訓練を実施する。⑩	3		
図 書 館	蔵書資料の充実を図る。	S L B A（学校図書館図書整備協会）や生徒・教職員の希望図書を購入し、蔵書資料の充実を図る。⑭	3	3	各教科・年次と連携して利用の増加を図る。
	図書館利用心得の徹底を図る	図書館利用のマナー（大声・飲食・返却遅延の根絶など）の向上を図る。⑭	3		
	図書館利用の増加を図る	利用しやすい環境を整える。⑭⑮	4		
渉 外	会議・委員会を円滑に進める。	円滑に会議が進むよう十分な事前準備をして係分担を明確にする。⑮	3	3	支部等からの要望について本部としての回答が出せるよう、早い段階で話し合いがもてるようにする。
	保護者が参加しやすい活動を展開する。	会員が参加しやすい研修や、興味ある内容を盛り込んだ講座を企画するために各種委員会運営を円滑に行う。⑮⑯	3		
教育相談	カウンセリングの実践をする。	問題を抱える生徒の早期発見に努める。⑨	3	3	スクールカウンセリングについて保護者に一層の周知を図る。
		生徒・保護者・職員に対する、スクールカウンセラーを活用した相談活動を行う。⑨	3		
	カウンセリングについて啓発する。	職員研修を実施する。⑨	3		